



Sabae Rotary Club

R | 第2650地区 2021-2022年度 鯖江ロータリークラブ

2021-22年度 国際ロータリーテーマ

2021-22年度 第2650地区スローガン



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

「活力と輝き」

— ロータリーの基本を大切に —



鯖江ロータリークラブ会長方針

「元気に～いま、私にできることを～」

会長 帰山 明朗

第3010回
5/13(金)

5月第2例会

点鐘:12:40

テーマ「日野川環境の現状について」

(株)キミコン 代表取締役

卓話 木水淳文様、井上哲夫様

第3011回
5/20(金)

5月第3例会

点鐘:12:40

文化プログラム

テーマ「ヴィオラとハープで紡ぐ名曲の宝箱」

出演者 山口 梨恵 様 (ヴィオラ)
佐々木 美香 様 (ハープ)

第3012回
5/27(金)

5月第4例会

点鐘:12:40

テーマ「チャイルドラインについて」

特別福井県子どもNPOセンター代表理事 長

卓話 谷内 由美子 様

5/13(金)

第3010回

4つのテスト

出席率 80%

鯖江商工会議所 4階大ホール

- ① 真実かどうか
- ② みんなに公平か
- ③ 好意と友情を深めるか
- ④ みんなのためになるかどうか

開 会 点 鐘
四 つ の テ ス ト
ロ タ リ ー ソ ン グ
会 長 の 時 間
幹 事 報 告 等
プ ロ グ ラ ム
閉 会 点 鐘

ロータリーソング

我等の生業



会長の時間

帰山 明朗 会長

今日から鯖江ロータリークラブの例会でもクールビズを始めました。この機会に、クールビズ誕生の経緯を簡単に振り返ってみました。

2005年、当時の小泉純一郎首相が、小池百合子環境大臣に働きかけたことにより始まったのが、この「クールビズ」です。

環境省は、同年、地球温暖化防止のため、夏季のオフィスにおける冷房温度を28℃程度に設定することを広く呼びかけの一環として、28℃の室温でも対応できる軽装(ノーネクタイ・ノージャケット等)を推奨しました。この以前にも、故・羽田元首相が愛用したこ

とで有名な夏場の半袖スーツ「省エネルギー」などの取り組みはありましたが、なかなか浸透しませんでした。でも、クールビズでのノーネクタイは普通のビジネスマンにも抵抗が少なく定着していきました。

この「クールビズ」、スタートした2005年の新語・流行語大賞のトップテンにも選定されました。ちなみに、同年の大賞に選ばれた言葉は「小泉劇場」と「想定内(外)」。「クールビズ」の名付け親は、当時の小泉首相か、小池環境大臣のどちらかだと思っていましたが、調べてみると一般人の方でした。2005年4月の環境省「夏の新しいビジネススタイル」愛称の一般公募で、約3000件集まった作品の中から、見事、受賞を果たした東京都立川市在住の田形英明さんの言葉でした。当時、田形さんを取材した新聞記者によれば、田形さんはスーツ姿で、もちろんネクタイ着用。「ネクタイを外すことが慣例化するなんて、無理な話。クールビズも来年は『死語』になっているかも」と苦笑いだったとされています。ところが、今では普通に辞書にも載るようになった「クールビズ」。今思えば、流行語大賞を受賞しても不思議ではなかった言葉だと思いますが、やはり、名付け親本人の言葉に代表される通り、当時はなかなか素直に受け入れられない人・企業が多かったように思います。では2005年の始まりから、17年を経過した今はどうか、環境省によると、個人約1万5千人と、企業約4千社から回答を得た、最近のインターネット調査で、クールビズの認知率は約9割、実施率は約7割と普及しました。

このクールビズの実施期間については、原則として6月1日から9月30日までの4ヶ月間で、いわゆる衣替えの時期と同一でしたが、これも変わりつつあります。近年は地球温暖化などの影響で、期間以外も極端な気温の日が増えていきます。冬場に暖房の設定温度の適正化や服装の工夫を呼びかけるウォームビズも昨年11月の期間初日には、東京都内の最高気温が20度を超えていました。このように一律に期間を決めるのが実態と合わなくなる中で、2020年に当時の小泉進次郎環境相は職員の服装を自由化。国として呼びかけて

きたクールビズとウォームビズも、2021年度からは一律に期間を定めるのをやめると決めました。これは「ネクタイを締めるかどうかは、一人ひとりが決めていくことが大事」と、各自が気温に応じた服装をするように呼び掛けていくことにしたようです。その為、環境省による「クールビズ」の呼びかけは、2020年度で最後となりました。引き続き、温室効果ガスの排出削減は呼びかけるが、それ以外は企業や団体の自主的な取り組みに委ねることになっているようです。

そういえば、お隣の越前市役所では、この4月からは、ノーネクタイ等、職員の自主性を重んじた働きやすい服装での勤務を、限られた期間ではなく通年実施することとされたようです。ただ、品位を失わないこと、節度ある身だしなみ、TPOをわきまえる、式典への出席等、社会通念上必要と判断される場においてはネクタイ等の着用など留意されるとしています

今日は、クールビズについてお話しさせていただきました。いずれにしても、私たち鯖江ロータリークラブでも、今日からクールビズを開始します。一応、10月末までを期間と定めてはおりますが、その大きな目標は「ライフスタイルを脱炭素型に転換すること」。その取り組みの一つがクールビズだと思っています。クールビズのスタートにあたり、ネクタイを締めるかどうかとともに、環境のこと脱炭素のこと、そんなことを皆様とともに改めて考えていく機会にもしたいと思います。

幹事報告

佐野 直美 幹事

皆さまこんにちは、幹事報告です。

先週の理事会にて、家庭会合を実施しようと可決されました。



5月と6月初めを目処に行って下さいませよう、各班チーフ、副チーフの皆さま宜しくお願い致します。

日程が決まりましたら私の方までご連絡下さい。今のところ、3班からは決まりました日程の連絡を頂いています。以上です。

卓話 (株)キミコン 代表取締役 木水淳文様、井上哲夫様 テーマ「日野川環境の現状について」



卓話者紹介:大島 恒彦 会員

本日は、出席率が80%を超えましたので、さい先良いと思います。本日卓話を頂きますのは、(株)キミコン代表取締役木水淳文様と、同社の井上哲夫様であります。

私は川が大好きでありまして、小学生のころはプールがありませんでしたので、九頭竜川で(勝山出身)よく泳ぎました。また、溪流釣りが趣味という事もありまして、現在も九頭竜川や真名川に魚釣りに出かけております。九頭竜川は清流で、サクラマス・アユ釣りでは全国で知られている川の一つであります。東京の同業者が、年に2回くらい九頭竜川にサクラマスを釣りに来るそうですが、何年も通って1匹しか釣ったことがないと言っていました。

私の近くにある日野川はどういう状況が知りたくて、漁業組合に問い合わせしました。現在は水質改善が進んで、アユ・サクラマス・サケ等も遡上してくるようになりましたという事をお聞きし、ビックリしました。水質改善に取り組んでおられるのはキミコンさんだとお聞きし、現状と今後の取組みについて是非お話いただきたいと思い、今日お越しいたきました。



卓話者:井上 哲夫 様

テーマ:「日野川環境の現状について」

環境と言っても水質や生態系など様々な分野がありますが、ここでは魚類、そのうちサケについての話を致します。

サケは日野川にも毎年遡上してくる最も大きな魚種です。そのサケは現在でも鯖江市で続けられている稚魚放流したものが、外洋に出て数年後に母川回帰したものと考えられています。

サケはきれいな水の川を好みます。1950年頃までは日野川もきれいな水が流れ、夏場になると多くの子供たちが水遊びをしていました。ところがそれ以降、高度成長期が訪れ自然破壊や水質汚染があちこちで発生し、日野川も同じように汚れてしまいました。それでサケの遡上はいつの間にか途絶えました。いわゆるサケの日野川流域絶滅となってしまったのです。

かつては各地に点在していた公害問題が、急速に拡大し地球的規模での「環境問題」としてとらえられ、その対策として1992年国連で地球サミットが開催されました。それをきっかけに国や地方でも環境基本法、福井県環境基本条例、鯖江市環境基本条例、同計画へと法整備が進みました。

一方、鯖江市においてはそれ以前の1972年(今から50年前)から「日野川(および支流をふくむ)清く美しくする会」の活動がありました。市民みんなで



きれいな日野川づくりに取り組んできました。また魚道整備も進みました。

そんなある日、2011年にサケの遡上が日野川漁業協同組合により確認され、捕獲に成功しました。遡上の記録としては61年ぶりということでした。それを受け2012年から鯖江市では日野川漁業協同組合の協力を得て、姉妹都市の新潟県村上市からサケの卵を譲り受け、市内の小学生が孵化させて放流するという事業が始まりました。それから4年目の2015年秋に一度に何匹ものサケが日野川に遡上してきました。以前は1匹の迷子のサケが、たまたま見つかるくらいのものでしたが、今度は集団で遡上してきたのです。これはまさに放流したサケの母川回帰本能による、日野川への遡上と言えます。その後も放流は毎年続けられ、遡上も毎年20匹程度が確認されています。



サケの遡上は越前市まで見られますが、南越前町までは到達していません。また産卵場所は2~3カ所程度で限られています。1950年以前は旧今庄町あたりまで遡上がありましたし、産卵場所もいたるところにあったと思われます。

しかし、上流のダム建設や河川整備などにより生息環境が改変され、水質がきれいに戻っても、サケの居心地はまだ悪そうです。私たちは安心安全な川との共存を目指していますが、これからはサケの声にも耳を傾けていくことも大事ではないでしょうか。

若狭ロータリークラブ創立60周年式典報告



5月14日(土)に婦山会長・佐野幹事で若狭ロータリークラブ 創立60周年記念式典・祝賀会へ出席して来ました。

新型コロナウイルス感染症警報が延長される等の状況から、予定されました祝賀会が中止となり、これまで計画準備された若狭RCの皆さんは、さぞ残念だった事と思われれます。



藤本周次会長の歓迎のお言葉は、式典会場の旭座は明治に建てられ、港町として栄えた小浜の娯楽文化を象徴する建物だったと言われてます。庶民の芸能娯楽場他、小浜の大集会を開催する施設として使用され戦後は映画館として、その後は倉庫として使用され平成26年に移設復元され落語界はもとより様々な演芸に使用されてます。若狭ロータリークラブが出来たころ、旭座ではチャンバラ映画等で栄えてました。



その後、杉本知事・松崎小浜市長・馬場ガバナーの来賓祝辞を頂き趣きある旭座での記念式典の後、桂あやめ氏の記念落語があり、若狭RCの皆様のご尽力による素晴らしい60周年記念式典でした。

委員会報告



笹尾 昌敬 米山委員長

米山委員会から、米山及び財団クラブ内寄付のご報告です。

米山313,000円(8943円/1人) 財団寄附318,000円(9085円/1人)。

ポリオ124,122円(3546円/1人)。ポリオは、新年例会時のオークションで9万円のご寄付をいただき、目標を達成しました。しかし、米山・財団がまだ達成していません。

寄付は皆様の自由意志ではありますが、どうかご協力をお願いします。

帰山 明朗 会員

佐野 直美 会員

齋藤 多久馬 会員

梅田 吉臣 会員

窪田 健一 会員

酒井 芳則 会員

大橋 良史 会員

木水様井上様の卓話を楽しみに、ありがとうございます。大島 恒彦 会員 木水様井上様の卓話を楽しみに、ありがとうございます。

清水 康弘 会員

小淵 洋治 会員

深見 泰和 会員

瀧ヶ花 秀晃 会員

西尾 俊一 会員 ちよっと!早退させていただきます。

岩尾 顕治 会員 ちよっと!!



ニコニコ箱発表 小淵 洋治 ニコニコ委員長